

→のとした姿も見られました。

また、遠くアメリカからきて、日本で英語の講師をしているというロレットさんという若い女性の方も参加し、地域でE C C教室を開設している講師の方と英語で会話したり、子供たちと簡単な会話をしたり、ふれあいを見せていました。何気なく途中下車し、イベントをみたり、一緒にキャンドルをともしたり、入口横での甘酒のコーナーでは、地域の方々とともに見学者に甘酒をすすめていました。ロレットさんも参加でき、すごく楽しかったとのことでした。



寒い中、携わっていただいた役員の皆さん、ありがとうございました。・・・取材担当：長井

スポーツアラカルト！



白石東地区町内会連合会及び白石区体育振興会連合会主催の各種スポーツ大会の結果について報告いたします。

第23回白石東地区室内スポレク大会が、平成27年1月25日に大谷地小学校体育館で開催されました。実施種目は、ミニバレーとテニポンの2種目を実施致しました。

ミニバレーには、少年野球の大谷地ヤングタックスの父母のチームのみの参加であり、試合とならず一緒に来た子供、役員・町内会会長を含め、経験の乏しいなか、変化の大きいボールを追いかけ、和気藹々のなかでゲームを楽しんでいました。テニポンでは、10名の参加で、ペアを変えながらゲームを進めていました。

この大会の結果をもとに、平成27年2月22日に開催されました第24回白石区民室内スポレク大会〔白石区体育館〕に地区代表として参加いたしました。

白石東地区より、ミニバレーに2チーム、テニポンに5チームが出場しました。ミニバレー混合の部に参加した白石東地区Aチームは、善戦したものの2回戦で敗れてしまいました。



また、白石東地区Bチームも初戦敗退、敗者復活戦でも敗れてしまいました。

レベルの違いはあったものの、大会の趣旨である他地区の方との交流、スポーツレクリエーションとしての参加という大きな目標は達せられたかなと思います。

テニポンでは、男子の部で白石東Aチーム、白石東Bチーム同士で3位決定戦を戦い白石東Aチームが勝利しました。混合の部白石東Bチームが第3位、女子の部白石東Aチームが第3位となりました。白石東地区を代表して参加された、ミニバレー、テニポンの選手の皆さんの頑張りと、ご協力に感謝し、拍手を送ります。



白石東地区では、春のマラソン大会、春秋2回開催しているグランドゴルフを楽しむ会、夏の少年野球大会、卓球大会、冬の室内スポレク大会を開催しております。また、白石区では、9月には区民ふれあい健康マラソン大会、11月には区民卓球大会、2月に室内スポレク大会が開催されております。

平成27年度も各種スポーツ大会を開催する予定でありますので、より多くの皆様のご参加をお待ち申しあげます。

・・・取材担当：長井

取材スタッフ 蠣崎〔まち協〕・杉浦〔まち協〕・福田〔まち協〕・中村〔まち協〕・市橋〔まち協〕・長井〔体振〕

鈴木〔青少年育成〕・金子〔青少年育成〕・片山〔青少年育成〕

お問い合わせ「白石東地区まちづくり協議会」

〒003-0026 札幌市白石区本通18丁目南2-6

TEL：011-862-0813 FAX：011-862-8694

白石東まちづくりセンター内

(休館：土・日・祝日)

第31号



地域限定の情報紙

白石東地区限定の情報紙「白石東まちづくり通信」を平成17年8月より発行しています。

本紙は、白石東地区まちづくり協議会が編集局になって地区内を取材し、年3回発行する予定です。みなさんも身近な話題をどしどしお寄せ下さい。スタッフが取材に参ります！

雪であそぼう！at大谷地小学校

白石東地区まちづくり協議会主催の世代交流プロジェクト事業「雪であそぼう！at大谷地小学校」が、1月14日(水)に大谷地小学校のグラウンドで開催されました。11月にプロジェクトを立ち上げ、2回のスタッフ会議と数度の担当者打合せを経て、前日準備、そして当日を迎えました。

今年は雪が少なめで心配されましたが、直前に降った雪で環境も整い、前日の会場作りに汗を流しました。各担当町内会から30名を超えるスタッフが集まり、それぞれ担当コーナーの会場作りに精を出し、3台の除雪機で「汽車ごっこ」や「迷路」のコース、「坂すべり」の雪山を作りました。会場作りの最後は、除雪機ではできない「迷路」の細部を全員で手掘りして、疲労困憊しながらも明日を待つだけの会場に仕上げました。

当日は、天候に恵まれ、冬としては暖かく雪遊びには絶好の日和となりました。遊びのコーナーは、「汽車ごっこ」「迷路」「坂すべり」「ボールコロコロ」「まとあて」「雪色あそび」「雪中か



かべていました。

おかげさまで、スタッフを含め450名以上のたくさんの親子、保育園や幼稚園、小学生の子どもたちが遊びに来てくれました。また、まちづくり協議会に加盟している各種団体のスタッフの皆さん、そして学生ボランティア(札幌商工会議所付属専門学校生・札幌国際大学生)の皆さんにご協力いただきました。皆様に心より感謝申し上げます。

さらに、参加募集のポスターとチラシのデザインは今回も札幌商工会議所付属専門学校にご協力いただき、会場案内ポスターは東白石中学校の「白石でっち奉公」で白石東まちづくりセンターに来た生徒の皆さんに作成していただきました。ご協力ありがとうございました。

夏は「白石南公園」で、秋は「厚別川緑地」で、冬は「大谷地小学校」で世代交流プロジェクト事業を行っている白石東地区まちづくり協議会です。次回、今年の夏(7月)、白石南公園でお待ちしています。

・・・取材担当：鈴木



札幌市民防災センター見学会 2 題

★青少年育成委員会

平成 2 6 年 1 0 月 5 日に青少年育成委員会主催の秋の行事として「札幌市民防災センター施設体験見学会」を開催しました。災害が多い昨今、日頃から子どもたちにも防災に対する知識を高めてもらおうと、色々な災害の模擬体験をしながら防災に関する知識や災害時の行動を学ぶことができる施設の体験見学会を企画しました。



参加した 1 0 名の子ども達は「地震体験コーナー」、「消火体験コーナー」、「災害バーチャル体験コーナー」、「暴風体験コーナー」、「煙避難体験コーナー」でいつ発生するかわからない災害を体験しました。関東大震災レベルと東日本大震災レベルの地震を体験できる「地震体験コーナー」は、一般家庭の居間と台所を模した部屋で、テレビから緊急地震速報が流れ、程なく大きな揺れが発生し疑似体験とは思えないほどの焦りと恐怖心を感じます。その状況でストーブやコンロの火を消し、自分の身を守る行動をとる難しさを身をもって学びました。また「消火体験コーナー」では、スクリーンに映る火災の映像に消火器を使って消火し、消火器での効率的な消火方法を学びました。体験コーナーの他に、はしご車の展示車両は子どもたちに大人気で、目を輝かせて運転席に乗り込んでいました。・・・取材担当：片山



★栄通 1 8 丁目町内会

平成 2 6 年 1 1 月 2 日（日）、昨夜からの雨のため恒例行事を延期し、この日二つ目の行事、「札幌市民防災センター見学」を予定通り実施致しました。この見学実施の切っ掛けは、「阪神淡路大地震」や「東日本大震災」等々における多くの大災害からの貴重な教訓を基にした各局のテレビ報道番組等を始めとし、行政機関主催の各種災害時の講習や避難訓練が活発に開催されてきた事によるものであります。更に、昨年 9 月 1 1 日、札幌市内の大豪雨、6 区に亘り避難勧告も発令された事は、もはや災害は「対岸の火事」ではなく「明日は我が身」と認識を新たにせざるを得なくなった事です。

私共、町内会は「行政機関の災害に関わる啓蒙」や「連合町内会主催の避難訓練」等々については、その都度会員全体に回覧や電話により周知徹底し、参加者を募って参りました。参加の都度、もっと参加者増員に努力が必要と思いつつ、同時に「自助」「共助」の重要性を幅広く喚起せねばと考えております。此度、会員への呼掛けの幅を広げ「札幌市民防災センター見学」を実施し、3 0 名の方々に参加され、新しい顔ぶれが加わり、ことのほか嬉しく感じました。当日、ハプニングがあり肝心の地震コーナーの体験が出来ず残念でしたが、他のコーナーを体験する度に、驚きの声と同時に、実際の地震・台風・火事の時はこの体験の何倍の威力になるのか等の話しも出るなど、これらの体験は想像を絶するものでした。

今迄、多くの講習や実施訓練で学んできた「自助」「共助」の重要性を再認識しつつ、今後更なる防災意識の拡充拡大に努力せねばと、心に秘めて帰って参りました。・・・取材担当：市橋

白石サイクリングロードについて

白石サイクリングロードは、昭和 4 9 年に旧国鉄千歳線の跡地を自転車と歩行者専用の道路として整備され、開通から 4 0 年が経過しております。この年月の間に社会状況・生活スタイルの変化にともない、最近では健康づくりのためサイクリング・ウォーキング・ジョギング等を楽しむ市民が増加しております。このサイクリングロードは東札幌から北広島駅まで約 2 0 Km と長く、札幌市民に人気があり、日本でも有名です。以上のようなことから、近年は特に自転車と歩行者及びジョギング者との接触事故が起こり、危険性が高まっております。



実際、私自身もこの 6 年間、毎年サイクリングロードでトンネルのタイルアート制作に参加しておりますが、毎年 2 ～ 3 件の自転車による事故が発生しております。特に平成 2 6 年 8 月には仲間の一人が自転車（スポーツ車）に跳ね飛ばされて怪我をし、病院に 5 日間位通院治療をする事故が現実発生するのを体験しております。→

→このことは私から見れば、この道路の名前が「サイクリングロード」となっており、自転車の人は自分達の道路であると思いつているのではと思います。この様なことから、白石区役所では平成 2 6 年 8 月からこのサイクリングロード利用者を対象にアンケート調査をし、その結果過半数の方から「愛称の変更」をした方がよいとの答えがありました。これを受けて 1 0 月からは愛称募集を開始し、インターネット上でも全国の方々に投票してもらっているとの事で、優秀な愛称を絞り平成 2 7 年 2 月頃を目途に新しい愛称が決定するとのことです。（2 月 1 2 日（木）、新しい愛称は「こころード」と発表されました。）

このサイクリングロードが、我々地元の住民にとって安全・快適で楽しく利用でき、白石区民いや札幌市民が世界に誇れる宝として、また人間専用の道路として永く後世にバトンタッチしていくことが、我々の責任と思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。（参考資料・・・広報さっぽろ 10 月号）・・・取材担当：中村



子どもかるた会

平成 26 年度の「子どもかるた会」が 1 月 31 日(土)に白石東会館で青少年育成委員会の主催で行われました。近年参加者が減少傾向にあり、町内会単位ではチームの編成ができないところが増えてきたため、日本古来の伝統である百人一首を少しでも子どもたちに広げ、お正月の遊びのひとつとして受け継いでほしいと願い、多くの子どもたちが参加しやすい方法を検討してきました。そこで今年度は、事前申し込みで、どの



位かるた(百人一首)を知っているか、取れるかを自己申告してもらい、そのレベルに合わせてくじ引きでチームを決め、午前中は練習、午後からは練習の成果発表会(大会)として開催しました。その結果、73 名の子どもたちの申し込みがあり、和気あいあいとした和やかな会となり、子どもたちの交流も進みました。

午前中は、初めてかるた会に参加する子どもには、少しでも取れるように育成委員が教えながら練習を繰り返しました。そのうちに段々取れるようになると自信もつき、笑顔も増えてきました。また、全部取れる子どもたちは、取り札の木札をはじき飛ばす光景もあり、自分の取り札からは目をそらさず、真剣な顔で審判の判定を待つ子もいました。午後からは、試合形式で 2 回行い積札の合計枚数で順位を決め、1 ・ 2 位のチームには賞品を、そして参加者全員に参加賞を渡しました。お昼は、恒例となっている育成委員手作りのお雑煮とおしるこを美味しいとたくさん食べて、午後の部に臨んでいました。

これまでとは違う方法で開催することに不安もありましたが、ご来賓として出席していただいた町内会長の皆様はじめ、読み手として協力してくださった方、育成委員 OB の方、そのほか様々なことでご協力いただいた皆様の後押しで、何とか無事終えたことを嬉しく思っております。今後はさらに子どもたちにとってよりよい会にしていきたいと考えております。

ご協力ありがとうございました。・・・取材担当：金子



白石東[雪あかいのまち]開催

白石東地区まちづくり協議会が主催した第 4 回アイスクャンドル{みんなのあったかい気持ちが灯る白石東地区雪あかりのまち}というイベントが、平成 2 7 年 1 月 3 0 日に開催されました。北東白石地区では、地域活性化委員会が中心となって平和駅北口を基点に 1 3 条通りをメインにアイスクャンドルで飾りました。

今年度も、同時開催のところから J R 平和駅南口乗降口前に階段状のステージを作り、白石東まちづくりセンター金谷所長をはじめ、大谷地第一町内会、柏町内会の役員の協力により実施いたしました。



柏山通終点にある平和駅の横に積み上げられた雪山を利用し、キャンドルを配置したり、ピラミット状に重ねたり、また平和駅入口横やバス回転路の横にも 2 段のキャンドルを重ね、作成しました。幻想的なオレンジ色の灯火を携帯で写したり、東日本大震災の鎮魂ですかと尋ねられたり、親子で記念写真をとったりとほのぼ→

